

# 家庭

■あなたの参加を  
まっています

「市民のひろば」『家庭』の欄は、あなたがつくるページです。  
なんでもご自由です。  
地域の明るい話題や行事、グループのなごやかな催しなどもご自由にどうぞ。

## あなたがつくるページ

### スキップ同行記

三代青年のバスに参加して  
明治、大正、昭和の三代青年が、三月八日ここに純川温泉に集合した。大風呂に入り、背中を流し合い、それぞれの青春を語り、人間関係を深めようというものだ。  
「まっこと広い背中じゃのう。」  
と言って、もうもうと立ちこめる湯気の中から大きな手で私は背中をたたかれた。それは、しわだらけの顔に年輪の笑みをたたえた明治の青年であった。「おんちゃん、背中を流すぞよ。」と言って見た背中は骨太の、黒い肌の男らしい明治の背中であった。この時、私はこの人の青春を想像してみた。やがて、誰ともなく歌を歌い始め、その歌に合わせてみんなが背中を流し合った。そうすると隣の女風

### 南国俳壇

膝つきて吾も加はる湿髪絵図  
雪圍を来し無蓋車が雪舞ふ  
枯園のとはしき砂に子等遊ぶ  
とりとめし命必死に一葉忌  
ビル建ちて寒き訴う一本杉  
風を鎮めて寝ねし三蔵児  
庭先に飛びこんで来し野火埃  
松露掻く熊手のようなものが欲し  
雛納めて又もとの子供部屋

### 灯俳句会

中村祭生  
西村博子  
田村一翠  
川村博子  
岡崎美枝  
馬場左枝  
友永一郎  
大谷みえ  
大崎雅子

### 若草句会

川村博子  
岡崎美枝  
馬場左枝  
友永一郎  
大谷みえ  
大崎雅子

### 柿の実会

友永一郎  
大谷みえ  
大崎雅子

呂からも楽しい笑い声が聞えてきた。ワイワイガヤガヤの軽音の中で、この時老若男女は一体となって心に平安を感じたものだろうと思ふ。  
こんな体験は、そうざらにあるものではない。私はうれしさのあまり、思わず喜びの笑顔がこぼれ落ちるものを感じた。  
池知隆  
(篠原)



川久保尚亮(金地)

### 南国歌壇

夕映えも長くなりしと思ひつつ  
訓練終へし病院を出づ  
冬野菜あおお育つ平穂を保ちて  
老の日ははつつまし  
秋すみし田の黒黒と続くはて  
電照栽培のあかり浮かびぬ  
立田 吉田泰  
南海学園 横田伶



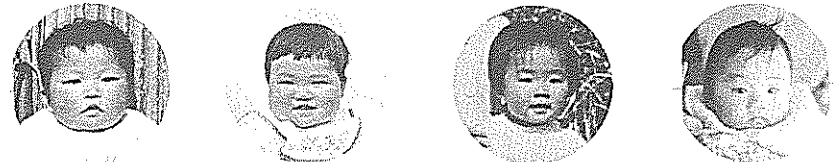
親子多々

ご家庭で話し合せて答えてください。答えは今月号の広報に出ています。  
■もんだい  
50年度の市政の方向を決める3月定例市議会は○月○日開会。杉本市長から50年度の施政方針が述べられた。  
■しめきり・四月十五日  
■おくり先・〒783 南国市大浦・南国市役所内、広報委員会、親子クイズ係  
■答へのハガキには、必ずお歳、職業をかくってください。  
広報や行政に関するご意見マンガ、詩などもどうぞ。マンガは黒のスミまたはインキでかくてください。  
■しようひん・特賞二千円一人、残念賞(記念品)十人  
■特賞二千円、石川幸子

### 特賞に 石川幸子さん(国分)

第四十二回の正解者発表  
■こたえ・市民からよせられた手紙は○の○通でした。  
■特賞二千円、石川幸子

## 赤ちゃんと登壇



土屋 綾さん (49・6・22生) 野村知広くん (49・6・22生) 中田香子さん (48・9・8生) 田村篤司くん (49・11・26生)  
(輝男・章子さん長女) (正則・安子さん長男) (絃一・美智子さん次女) (耕三・明子さん長男)  
十市 1,751 白木谷 753 大浦乙 1,524の1 成台 109

ロマンには縁なくふたり年古りて  
珊瑚婚に小さきプローチを選ぶ  
笠ノ川 葛目治子  
昏れてゆく水面にうつり浅茅焼く  
女の性のごとき火に燃え  
領石 唐若男  
足なえて首いてもな見舞し娘に  
勤め如何と問う母の手  
じつとぬくめぬ  
稲生 竹内富二枝



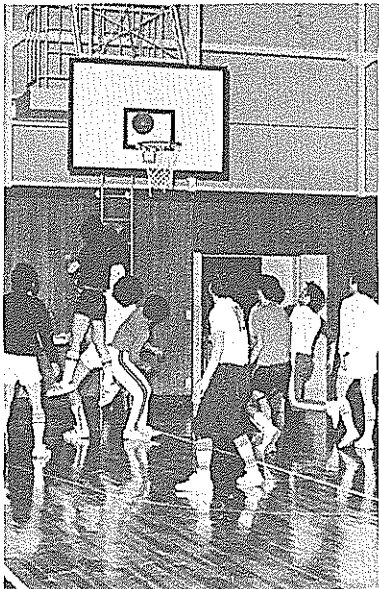
訪問

「バスケットはチームプレイで小さな社会のようなもの。みんなの「和」の中で休と心を鍛えていく。スポーツを通して社

## 今年は、ぜひ国体へ

### 南国バスケットクラブの巻

会を知っていきることが一番  
南国バスケットボールクラブができて今年で五年目、青年団で行っているサークル活動のバスケット



トの部に出場しようと、気の合う少々が集ったことのある七人が集まってチームを作ったのがきっかけ。  
現在クラブ員は十四人。十九歳から二十九歳までピチピチした若アユの集りだ。職業も農業をはじめ、サラリーマン、公務員、大工さんとさまざま。  
クラブ結成後、初めての全国青年体育大会(四十六年)で勝ち進み県代表として出場したが、全国の壁は厚く一回戦で敗退。その後、根性と闘志で、四十八年には再び全国大会に出場。四十七年から始まった県下の一般リーグでも、四



特製コップ 古谷栄幸(植田)

(国府)  
■残念賞・井上恵子(片山) 箭野美代(立田) 田村美喜子(小連) 吉岡広美(十市) 西原正人(領石) 浜口ゆり(浜改田) 中沢八重子(大浦) 中村敏夫(前浜) 岸上律子(篠原) 山崎小夜子(大浦)  
おめでとーございました。これからもどうぞ応援してください。

十七年六位、四十八年には四位、去年は十四チーム中五位と活躍を続けている。  
「なかでも四十八年の四國バスケットボール選手権大会で、準優勝チーム強豪帯人松山にゴール差でおしくも敗れた試合が一番印象に残っている」と目を細め、「なんといっても試合のあとの「一杯」はうまいもんです」とダイゴ味を語ってくれた。

今年、ぜひ国体へ「八月に行なわれる国体予選をめざし、今日も元気で練習に汗を流している。」  
練習は週二回、市民体育館と北陵中で午後七時から行っています。参加したい人は、南国電報電話局の宮田正さんまで(電話三〇〇〇〇)